

きわめて高くなる

第三段階、イエスは昇天すると、神の右の座に着きました。「神の右の座に着く」とは、神と等しい地位であることを意味します。

イエスは、元々、神であった方が人の肉体をまとして地上に現れてくださいました。

では、天に戻ったときに、神に戻るのは当たり前かと言うと、そうではありません。復活の体とはいえ、人の体を持ったまま天に上げられました。元の「神」としての在り方に戻ったのではなく、今や「神であり人であるお方」として天におられます。その理由は何でしょうか、詳しくは集会で。

2026年4月の集会のテーマは「イエスの昇天」
4月5日（日）みやま、18日（土）福岡

お問い合わせは 熊本聖書フォーラムのホームページから

<https://seishoforum.net/kumamoto/top/>

聖書のことばを あなたに

見よ、わたしのしもべは栄える。

彼は高められて上げられ、

きわめて高くなる。

（イザヤ書 52章13節）

イザヤ書は、旧約聖書の預言書のひとつです。預言書には、イエス・キリストについての預言が多く記されています。イザヤは、イエス・キリストが現れる約7百年前の預言者です。



見よ、わたしのしもべは栄える

「わたしのしもべ」とは、「神のしもべ」とも呼ばれるキリストを指します。

「栄える」は、ヘブル語の元々の意味は「賢くふるまう」です。ここでは、キリストが、しもべのように自分を低くして、神のみこころに従ってふるまうことを指しています。

その預言のとおり、イエスは人々に仕える者のようにして、病人を癒やし、苦しんでいる人を助けました。ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、脅すことをせず、正しく裁かれる方である神にお任せになりました。

その結果は、どうなるのか？

「彼は高められて 上げられ、きわめて高くなる」これは、キリストが3つの段階で高められることを指しています。そのとおりに、イエスに起きました。

彼は高められて

「高められ」とは、第一段階、よみからの復活です。イエスは自ら十字架の上で私たちの罪をその身に負って死んでくださいました。その体は墓に葬られ、その靈魂はよみに下りました。

しかし、イエスは三日目に復活しました。

イエスの靈魂は、よみから上り、復活の体をもって地上に立ちました。

上げられ

「上げられ」とは、第二段階、地上から天に引き上げられたことです。

復活から40日間、イエスは弟子たちに現れて、ご自身が復活したことを示した後、エルサレムの東の山、オリーブ山から天に上げられました。これを、「イエスの昇天」と呼びます。